別記様式４

化学肥料低減計画書

（令和５年秋用肥料）

提出先：

※次の取組実施者へも提出しています。

|  |
| --- |
|  |
| 作付概要 |
| 作物名 | 作付面積（ha） |
|  |  |
|  |  |  | 氏名（法人・組織名） |
| その他 |  |  | 住所 |
|  |  |  | 電話番号 |

|  |
| --- |
| １．実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。２．「タ」の取組を除き「令和４年度又は令和５年度（令和５年度又は令和６年度※１）の取組」には、実施する取組メニューが２つ以上必要です。　　そのうち１つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。３．令和４年秋用肥料又は令和５年春用肥料において計画を作成している場合は、その内容を記入してください。※１　初めて計画を作成する場合は、「令和５年度又は令和６年度の取組」としてください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 昨年度までの取組 | 令和４年度又は令和５年度の取組（令和５年度又は令和６年度の取組） |
| 取組 | 備考（強化・拡大の具体的な内容） |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） |  |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |  |
| タ　化学肥料の低減に相当程度の実績がある農業者（ア～ソのうち、該当する取組：　 　　） |  |  | ― |

（注）令和５年６月～10月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）又は、参加農業者の支払い義務が確認できる書類（請求書等）を添付すること。

なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

また、注文によらず購入した（ホームセンターでの購入等）肥料の根拠資料（レシート等）を提出する際は、当用買いした肥料を一覧に取りまとめて提出すること。

私は記載の誓約事項を確認し、内容について確約します。

　（※以下、不要の場合は削除する。）

　また、支援金の交付に際し、取組実施者が交付額から振込手数料を控除する

ことを承諾します。

誓約事項

|  |  |
| --- | --- |
| □ | １．添付した領収書等に記載の肥料は令和５年秋用肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。 |
| □ | ２．本計画書、実績報告書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関で共有することを承諾します。 |
| □ | ３．本事業に係る報告や立入り調査について、実施主体等から協力を求められた場合は応じます。 |
| □ | ４．取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から５年間保管し、実施主体等から求められた場合は提出します。 |
| □ | ５．以下の場合には支援金を返還すること、又は、交付されないことについて異存ありません。ア　本計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合イ　正当な理由がなく、本計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合 |

氏名（自署）

※法人の場合は、代表者の氏名